

平成 29 年度年報発刊にあたって

京都府保健環境研究所は、昭和 24 年に府庁内に京都府衛生研究所として創設されたのが始まりであります。その後、昭和 51 年に京都府衛生公害研究所として改組され、昭和 54 年に伏見の地に移転し、平成 6 年に現在の名称に変更されました。その間、我が国を取り巻く保健衛生や環境問題は、疾病構造や人口構成の変化、産業構造の高度化、科学技術や医療の進歩、そして健康や環境に対する問題意識の高まりなどを受け、近年一層複雑化しており、ニーズも多様化してまいりました。

本研究所の建物は今年築後 40 年目を迎えますが、建物や設備の老朽化を解消し、より効率的で集約化された検査研究業務を実施するため、平成 26 年度に現在の本研究所敷地内で京都市衛生環境研究所と共同整備を行うことを決定しました。今、平成 31 年秋の完成を目指し進められている新研究所建設の槌音が聞こえております。

今回の共同整備を機に、京都府保健環境研究所は京都市衛生環境研究所とよりつよく連携し、試験検査機能の強化や機器利用の共同化を図り、府民公開講座や体験教室をさらに充実させ、感染症や環境汚染などのリスクや脅威に迅速かつ的確に対処するため、あたらしい技術を取り入れて、情報発信を行い、健康増進および環境保全にかかわる予防的かつ戦略的危機管理拠点としての役割を果たして行きたいと考えております。加えて「開かれた研究所」として、地域や大学、国の行政機関などとの協働を推進させるとともに、検査や調査研究の将来を担う人財の育成に努める所存です。

ここに当研究所が実施した行政検査や調査研究などの一部を平成 29 年度の年報として報告いたします。内容としては、感染症、農産物中の残留農薬検査、騒音測定、衛生害虫、水質事故、水質検査など多岐に及びます。この他にも大気汚染や外来生物の生態系への影響に関する調査研究、さらには iPS 細胞をはじめとする先端技術に関する人々の理解を深めるための教育事業などについても取り組んでおります。

本研究所の調査研究等の業務実績をご高覧いただき、ご意見、ご批評をいただければ幸いです。

平成 31 年 2 月

京都府保健環境研究所 所長 前川 平

